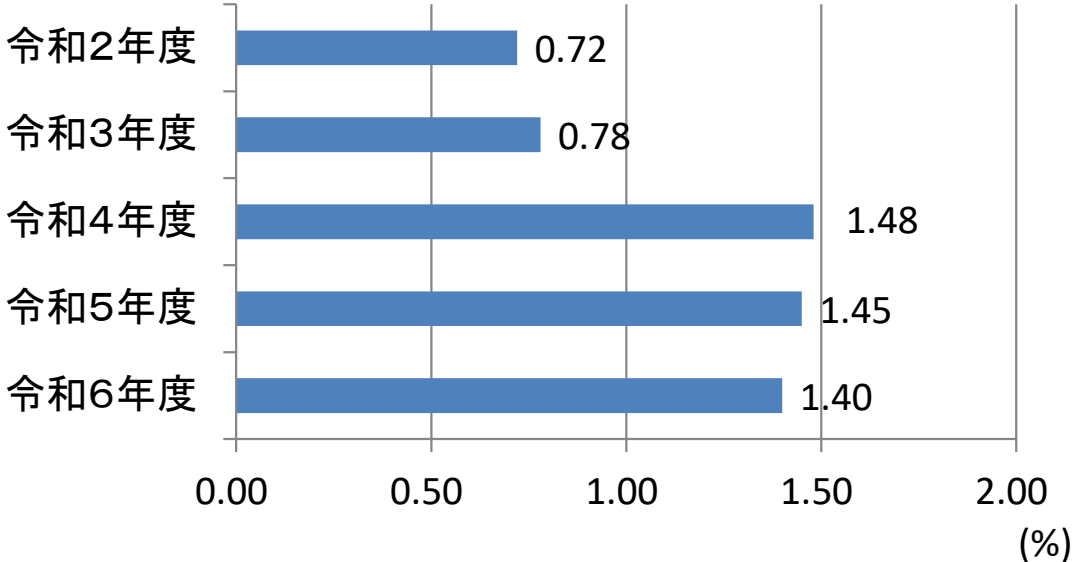


29 褥瘡発生率

解説	入院後に褥瘡(床ずれ)が新規発生することで、患者のQOL(生活の質)の低下をきたし、結果的に入院期間の長期化や医療費の増大を招きます。これは、適切な診療により予防できる疾患です。国立大学附属病院における褥瘡の発生率は低く、適切な取り組みが行われていることが示唆されます。知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価する指標です。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>褥瘡発生率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0.78</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1.48</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>1.40</td> </tr> </tbody> </table>	年度	褥瘡発生率 (%)	令和2年度	0.72	令和3年度	0.78	令和4年度	1.48	令和5年度	1.45	令和6年度	1.40
年度	褥瘡発生率 (%)												
令和2年度	0.72												
令和3年度	0.78												
令和4年度	1.48												
令和5年度	1.45												
令和6年度	1.40												
定義	各年度1年間での、褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者数の比率(%))です。自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めます。												